

# あ さ な ぎ 通 信

～心豊かに しなやかで 進んで学ぶ子どもの育成～

浅子小中学校だより

No.3

令和5年4月18日(火)

文責：木下智美

## 歓迎遠足！

4月14日(金)、予定していた歓迎遠足。あいにくの雨天に見舞われ、やむなく校内遠足に切り替え、実施しました。1年生は少し残念そうでしたが、上級生が考えていたレクリエーションの企画に楽しそうにしていました。児童生徒が自分たちで考えた校内遠足。子どもたちにとって満足感が得られる歓迎遠足となりました。



## 子どもに自信を！「Believe you can～あなたならできる～」

4月18日(火)、全国(9年・6年)、県(8年・5年・理科:6年のみ)、市(7年、4年)学力調査が実施されました。この調査は、毎年4月行われています。これは、児童生徒個人を評価するものではなく、学校における児童生徒への教科指導の充実や、学習状況の改善に役立てることが目的の一つです。テストの結果をもとに、教職員にとっては指導の方法を客観的に検証し、授業を工夫することができるようになります。子どもが学びの楽しさを感じ、学力を上げていくために、誰が、何をどうすればよいか、保護者の方と教職員が前向きに話し合う、よいきっかけにしたいと考えています。

「桜切る馬鹿、梅切らぬ馬鹿」ということわざがあります。桜と梅は、日本を代表する樹木です。桜は切るとそこから腐ることがありますが、梅は切ることで花も実もつきやすくなるのだそうです。人も様々で、花を咲かせるまでの過程は人それぞれです。人と比べて焦る必要はありません。しかし、発達段階が上がるほど、「自分の得意なこと」が見えづらくなり、自信を持ってなくなります。桜である大切な枝を切ってしまう、才能を枯らしてしまうこともあるかもしれません。そうならないために、子どもそれぞれのタイプを大人が認め、努力していくことの大切さを理解させ、実際に自分の強み(よさ)に自信を持てるよう、大人が子どもに「Believe you can」を伝えていきたいものです。